

2021年度 発達支援つむぎ 八山田ルーム 職員アンケート改善策報告

いつも発達支援つむぎをご利用いただき、ありがとうございます。職員アンケートの結果および改善策の報告をいたします。
 今後も支援の質向上に努めてまいりますので、お気づきの点などございましたら、施設長または職員にお気軽にお知らせください。

		質問内容	平均スコア	改善策・ご意見への対応について
体制設備・環境について	Q2	入口や指導室、カフェ、トイレなど、ルーム内は清潔、整理整頓され、お子さまが活動するにあたり安全な環境であるか。	5.00	施設内の清掃や整理整頓を引き続き行い、安心してご利用できるよう努めてまいります。
	Q3	職員の配置数、職員の専門性は適切であるか。	3.50	職員一人ひとりのスキルアップを目指し、専門性の向上に努めてまいります。
	Q4	業務中の休憩および休暇は適切に取れているか。	4.00	個々の休憩を確保し、適切な業務分担を行ってまいります。
	Q5	ルーム内の環境や指導員の人員体制について、ご意見をお聞かせください。		
業務改善について	Q6	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに、広く職員が参加しているか。	3.83	職員一人ひとりが働きやすい職場を目指し、計画性を持って業務に取り組むように努めてまいります。
	Q7	保護者にアンケート調査等を行い、保護者の意向や意見を把握し、業務改善につなげているか。	4.00	アンケート調査を実施し、小さなご意見でも職員に共有し改善に努めてまいります。
	Q8	この自己評価表の結果を事業所内掲示やホームページなどで公開しているか。	3.83	当自己評価表はルーム内に掲示するとともに、2022年1月に法人ホームページに掲載いたします。
	Q9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3.50	内部監査を年に2回実施しており、法人のガイドラインに則った正しい運営を心掛けております。
	Q10	職員の資質、療育スキル向上のため研修の機会を確保しているか。	3.67	研修は各自スキル講座等に参加し、職員の専門性を高めるよう努めてまいります。
	Q11	業務改善について、ご意見をお聞かせください。		業務の分担や情報の共有を工夫し、業務時間内に終えられるよう努めてまいります。
適切な支援の提供について	Q12	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	3.17	法人内で標準化されたアセスメントツールを使用しております。
	Q13	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか。	3.83	アセスメント後に策定会議を開き、お子さまの現状、課題設定を行い支援計画につなげております。
	Q14	グループ指導や個別指導のプログラムは、支援目標に沿ったものになっているか。	3.83	今後も、戸外活動での遊びを通して、お子さまが主体的に遊べる環境設定をしてまいります。
	Q15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3.67	活動がパターン化せず、必要な体験、経験が行えるよう話し合いながら検討してまいります。
	Q16	プログラム開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる内容や役割分担について確認しているか。	3.67	活動前に話し合う時間を設け、活動の内容の共有を行ってまいります。
	Q17	支援終了後には、職員間で必ず支援の振り返りを行い、気づいた点などを共有しているか。	3.00	支援後は振り返りの時間を設け、次の支援に活かせるように努めてまいります。
	Q18	日々の支援内容を正しく記録し、支援の検証・改善につなげているか。	3.67	支援ごとに記録を作成しており、次回の支援の改善につなげております。
	Q19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適用期間内に次期個別支援計画の説明ができていますか。	3.33	定期的なモニタリングを行い、保護者様と支援内容について話し合い、次期の個別支援計画につなげてまいります。
	Q20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか。(自立支援と日常生活の充実のための活動、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供など)	4.00	児童発達支援ガイドライン、保育所保育指針に沿って、保育園と共に様々な活動を行っております。
	Q21	適切な指導の提供について、ご意見をお聞かせください。		
	保護者との関係機関について	Q22	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4.17
Q23		所属の幼稚園や保育園等と連携し、相互理解や支援のアドバイス等に努めているか。	3.67	関係機関や所属園との連携を図り、お子さまより良い支援を提供できるように努めてまいります。
Q24		児童発達支援事業所同士で連携をとり、情報共有、相互理解に努めているか。	3.17	年に数回、児童発達支援事業所同士で集まり、情報交換、共有をし相互理解に努めております。
Q25		児童発達支援事業所から放課後等デイサービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容などの情報を提供するなどしているか。	3.00	相談支援事業所等と連携を図り、就学に向けての情報共有をしてまいります。

保護者との関係連携について	Q26	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	2.83	現在センターとの連携はしておらず、今後連携を図り研修等を受けるよう努めてまいります。
	Q27	地域自立支援協議会や社会福祉協議会など、地域連携を図るような会議に積極的に参加しているか。	3.00	地域の会議に参加し連携をしていけるように今後検討してまいります。
	Q28	障害のない子どもと活動する機会を設けているか。	5.00	保育園併設という環境を生かし、子ども同士お互いに成長しあう機会を今後もより一層提供できるよう努めてまいります。
	Q29	事業所の行事に地域住民を招待するなど、地域に開かれた事業運営を行っているか。	3.50	新型コロナウイルスの影響で限られた交流となり、今後も出来る範囲で地域に開かれた事業所となるため計画を立ててまいります。
	Q30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか。	2.83	必要に応じて行ってまいります。
	Q31	関係機関や保護者との連携について、ご意見をお聞かせください。		
保護者やお子さまへの対応などについて	Q32	契約、支援の内容、利用者負担などについて丁寧な説明を行っているか。	4.67	安心してご利用して頂けるよう、丁寧に説明を行いご不明な事がある場合は気軽に話せるような雰囲気を作っております。
	Q33	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3.67	保護者様の気持ちに寄り添い、必要な支援や助言を行っております。
	Q34	保護者同士が集まれる場の提供など、保護者同士の連携につながる支援を行っているか。	4.50	グループ支援でのフィードバックでは、保護者様同士で話せる場を提供し、情報の交換を行える機会をつくっていくよう努めてまいります。
	Q35	お子さまや保護者様からの苦情があった場合、迅速かつ適切に対応しているか。	4.17	ご意見をいただいた際は、早急に職員間で共有し対応してまいります。
	Q36	掲示物やホームページなどで、活動内容やイベント開催告知など、お子さまや保護者様に対して情報を発信できているか。	4.50	ブログやSNSを通して活動の内容を発信しております。
	Q37	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。(例：分かりやすい言葉がけをしているか、専門用語を使い過ぎていないかなど)	4.17	お子さま一人ひとりに合わせて、言葉かけをしております。
	Q38	個人情報の取扱に十分注意しているか。	3.67	パソコンは各個人のログインIDとパスワードにて管理しております。また個人記録ファイルは鍵付きの書庫で厳重に保管しており、今後も徹底してまいります。
	Q39	職員同士の連携や情報共有は適切に行われているか。	4.83	会議体だけではなく、常日ごろから職員同士で連携情報共有を行っております。
	Q40	保護者やお子さまへの対応などについて、ご意見をお聞かせください。		
非常時の対応について	Q41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを、把握できているか。	4.67	法人内のマニュアルを元に、適切な対応が取れるよう定期的に読み合わせ、ロールプレイングを行っております。
	Q42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか。	4.50	月に1回、保育園と合同で避難訓練、定期的に不審者訓練、引渡し訓練等行っております。
	Q43	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	4.17	今後研修等の機会を設け、虐待防止に努めていきます。
	Q44	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	4.83	ヒヤリハットの事例を毎月集計し、職員間で共有していき未然に事故を防げるようにしてまいります。
	Q45	非常時の対応について、ご意見をお聞かせください。		
満足度について	Q46	利用児はつむぎに楽しく通っていると思うか。	4.50	「つむぎに行きたい」という声のひとつでも多くなるように努めてまいります。
	Q47	つむぎの支援を通じて、利用児の変化や成長を実感することができるか。	4.50	戸外活動の遊びを通して、友だちとの関わりや自然への興味関心が深まる様子が見受けられます。
	Q48	設問事項に関わらず、ご意見・改善点などなんでもお聞かせください。		

アンケート実施期間：2021年8月13日～9月5日

全回答数：6

発達支援つむぎ 八山田ルーム